

森の色

黄

ki

黄葉や花の黄色は、秋の森林公園ではよく見かける色の一つです。

草花ではオミナエシ、ヒメキンミズヒキ、アキノキリンソウ、ツワブキなど。



ツワブキ

アキノキリンソウ

ヒメキンミズヒキ

オミナエシ



ヤマノイモ

タカノツメ

湿地ではミミカキグサ、ミズギク、スライランの花。カッラ、モミジバフウ、タカノツメ、ヤマノイモといった草木の葉は鮮やかなこの色に染まり、落葉します。



スライラン

ミズギク

ミミカキグサ

また、忘れてならないのがスズメバチ、アシナガバチ、ジョロウグモといった虫たち。これらの黄は、黒とセットになることで他の動物への警戒色となります。黄にはハッと目を惹く効果があるようです。



ジョロウグモ

オオスズメバチ

日暮れどき、穏やかに傾いた陽の光も、なんとなくこの色。森のなかを歩いていてあたりが黄色くなっていると感ずると、いよいよ夕暮れです。

花も終わり、木の葉も落ちて、色がなくなる直前に森を最後に彩るのが赤色・紅色です。

イロハモミジ、モミジバフウをはじめ、ナンキンハゼやハゼノキの紅葉、ソヨゴやコバノガマズミ、ツルアリドオシ、サルトリイバラといった木の果実。



コバノガマズミ

ソヨゴ

ハゼノキ

ナンキンハゼ

マユタテアカネをはじめとする赤トンボの仲間たちも、この色が鮮やかになればなるほど成熟を示します。赤は実り、そして1年の締めくくりを示すかのごとく、周囲に自らを主張します。



ナツアカネ

マユタテアカネ

サルトリイバラ

ツルアリドオシ

もちろん、日が沈む直前のこの時季の空は、燃えるような赤色に染まることがある幻想的な風景にやラれます。

森の色

赤

aka

紅